

公開シンポジウム

11月22日 第29回京葉OLクラブ南房総大会1日目会場にて
日本代表チームの未来について考えよう

日本チームがWOCに参加しはじめてから30年。アジアの先駆者として世界のオリエンテーリング発展に貢献してきた日本。しかし残念ながら数字で見ると90年代以降は足踏み状態が続いている。選手のトレーニングの進化、番場選手の活躍、2005年愛知世界選手権での一定の成果など、将来の飛躍のための足がかりはある。ではこれらをどう結果に繋げればよいのか。「強化委員会」、「日本代表選手」という枠を超えて、強い選手が育つ日本オリエンテーリングの未来について考えたい。

【主催】 日本オリエンテーリング協会強化委員会

【協力】 京葉オリエンテーリングクラブ、財団法人富津市施設利用振興公社

【日時】 2008年11月22日 午後1時30分より3時30分

(予定:午前中の競技日程により変更の可能性があります。)

【場所】 富津市民ふれあい公園ビクターセンター(スプリント会場より歩いてすぐ)

【参加費】 無料

*シンポジウムの主旨にご賛同頂けた方は、当日500円/名の寄付をお願いします。

【申込】 事前申込みは不要です。当日ご来場下さい。

【プログラム(予定)】

司会進行 : 松澤俊行

パネリスト : WOC,ユニバーシアード,JWOC 代表選手等を予定

1. 基調講演「世界における日本の位置」(鹿島田 浩二)
2. パネルディスカッション
3. フロアを含めたオープンミーティング
4. まとめ

世界を目指す選手はもちろん、学生の方、一般の方、興味ある方、少しのぞいて見るだけでも結構です。多くの参加を広くお待ちしております。



番場選手もパネリストとして参加!